

令和7年度

こども園の自己評価表

社会福祉法人 敬愛会

もろぐちこども園

【評価対象期間】

令和7年4月1日から令和8年2月28日

【評価責任者】

大阪市鶴見区諸口1-3-7

もろぐちこども園

園長 徳村 マキ

こども園における自己評価の結果

A 達成できている
B おおむねできている
C 一部検討を要する
D 改善を要する

1. 教育・保育の計画の構成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
経営組織	(1) 教育・保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				教育・保育の目標および方針に基づき、子どもの心身の発達や家庭・地域の実態に応じた保育を設定した。前年度の振り返りを踏まえ、職員間で協議を重ねながら、子どもの興味・関心に基づく主体的な遊びを保障する保育に取り組んでいる。 また、抽象的な保育目標を具体的な行動目標へと落とし込み、全職員で共通理解を深めつつ、地域の特色をより活かした保育の実現を目指している。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				
	(4) 目標は前年度の反省を生かし、全職員で共通理解を図っているか。	○				
教育・保育について	(1) 指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				指導計画は、毎月子どもの状況や発達を踏まえ、個々に応じたねらいや配慮事項を設定している。乳児においては、家庭との連携を図りながら、できるだけ家庭と変わらない生活リズムを保ち、丁寧な声かけや保育者の関わりを通じて安心できる環境を整えている。 幼児はサークルタイムやプロジェクト活動を通じて素材や用具を活用し、創造的な表現を促している。全職員が共通認識のもと、会議や園内研修を通じて環境構成の実践力を高め、保育の質の向上に努めている。
	(2) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した教育・保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているのか。		○			
	(5) 評価結果を基に、教育・保育の改善に努めているか。		○			
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				子ども一人ひとりの成長を保護者に実感してもらえるよう、行事の内容や進行に工夫を凝らして実施している。行事は保育の彩りであることを踏まえつつ、子どもと職員に過度な負担とならないよう配慮し、保護者の思いも大切にしながら、子どもが主体的に楽しめるような取り組みを重視している。 行事後には保護者アンケートの内容をもとに反省会を行い、次年度の計画に活かしている。PDCAサイクルを意識した体制を整え、行事が目的化することなく、日々の遊びや生活の中で子どもが主体的に関われるような保育を推進している。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 計画・実施・評価・改善(PDCAサイクル)の体制をとっているか。		○			
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				
食育について	(1) 食育の計画を作成し、よりよい食習慣や心身の健康の基礎を培うよう努めているか。	○				年齢に応じた目標やねらいを設定し、活動計画に基づいて保育活動を展開している。園庭には菜園を設け、子どもたちと野菜を育てる活動を行っており、食への関心や命の大切さを学ぶ機会を作っている。収穫した野菜を使ったクッキング活動も取り入れ、調理の楽しさや食べることへの興味・感謝の気持ちを育んでいる。食育においては、年齢別の年間計画を作成し、体に必要な栄養や心身の健康の基礎について学ぶ機会を設けている。
	(2) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう食育について見直しや改善を図っているか。	○				

2. 教育・保育の計画の構成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				より質の高い保育の実施に向けて、組織内の職務分掌を明確にし、職員の能力や特性を踏まえた適切な配置を行っている。係や分担においては、新人と経験者がペアとなるよう配慮し、職員が一人で悩みを抱え込むことのない体制づくりに努めている。
		(2) 職員の配置は適材・適所か。	○				
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				会議には各クラスから担当者が参加し、内容や進め方を共有することで、異年齢の子どもたちの姿を知る機会となり、保育者自身の学びにもつながっている。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、教育・保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				年齢別の教育・保育目標は、子どもの育ちや実態に即した内容となっているかを評価・反省しながら、継続的な改善に努めている。幼児クラスでは縦割り保育を取り入れ、週に一度程度、異年齢の子どもたちが同じチームで活動を行っている。夏祭りごっこ、ハロウィン、クリスマスなどの行事制作や、芋掘り、お別れ餃子づくりなど、年間を通じて多様な体験を共有している。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 同年齢および異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(4) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。	○				
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス運営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				感染症蔓延防止のため、感染症サーベイランスを活用し、早期把握に努めている。避難訓練は真剣かつ継続的に実施し、災害発生時を想定した訓練を子どもたちも真剣に取り組んでいる。また、年に一回、災害時を想定した引き渡し訓練も実施している。さらに、シルバー人材センターの協力により、門番として園の出入口で見守りを行うなど、地域と連携した安全対策にも取り組んでいる。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○				
	情報の取り扱い	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				個人情報の取り扱いには十分に気をつけた。
		(2) 文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	研究・研修	園内	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものである。	○			
(2) 園内研修の計画・運営は適切か。			○				
(3) 研究成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。			○				
(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりをみせているか。			○				
園		(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか。	○				自己の課題に沿った研修会に積極的に参加しており、園外研修の内容については職員会議を通して全職員に共有できるよう努めている。しかし、時間的制約により記録の回覧での共有にとどまる場合もあるため、今後はより効果的な情報共有の方法について改善を図っていく。
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。	○				

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				安全点検は、毎月職員が園内外を点検項目に沿って実施しており、遊具の点検や用具の整理整頓を心がけ、大切に使用している。自動錠の導入により鍵の閉め忘れを防止し、玄関には防犯カメラを設置している。登降園時の不審者侵入対策や子どもの飛び出し防止にも取り組んでいる。さらに、玄関の掲示板を活用して感染症情報などをわかりやすく掲示し、保護者への情報提供にも工夫をしている。
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者等の対する周到な配慮を行っているか。	○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納経理	(1) 小口現金を適正かつ適切に処理しているか。	○				園長を担当者とするなど取り扱い者を限定し、施錠できる場所に厳重に管理している。また、支払いの都度、勘定科目を小口現金出納帳に適切に分類記入し、こまめな残高確認の実施により、不正防止と差異の早期発見に努めている。
開かれた保育園づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等の児童・生徒と触れ合う中で子どもが楽しく過ごし充実感を味わう事が出来るような配慮や援助・支援を行っている		○		姉妹園との合同運動会に向けたマーチング等の練習を通して互いに訪問し合い、楽しみながら交流する中で、協力してやり遂げる力を育んでいる。また、地域の小学校との交流会にも積極的に参加し、小学校教育への理解を深める取り組みを進めている。さらに、5歳児は就学前に地域の小学校を訪問し、学校生活への期待を高めるとともに、就学へのスムーズな移行を図っている。
		(2) 参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。		○		
		(3) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○	
	家庭・地域社会との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設置しているか。	○			保護者に対しては、親子登園や保育参観を通して、教育・保育の内容や園の取り組みへの理解が深まるよう努めている。また、保護者以外の地域の子育て家庭に対しても園見学の機会を設け、教育・保育の内容を知るきっかけとしている。地域子育て支援としては、月に一度「ケイアイクラブ」を開催し、家庭とのつながりを大切にしている。地域との連携では、高齢者施設への訪問を行い、歌や踊り、ふれあい遊びなどを通して世代間交流を図っている。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	○			
		(3) こどもの興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○	
		(4) 地域の行事に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○	
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育て支援として、園庭や保育室等を開放しているか。	○			地域子育て支援の一環として、月1回の施設開放をWEB予約制で実施し、子どもの身体測定や季節のテーマに沿った活動を行っている。また、保健福祉センターや児童発達支援センターなどの専門機関と連携し、子どもの育ちを共有しながら、必要な情報を保護者に提供している。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした情報提供の機会を設定しているか。	○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○			
	情報の発信	(1) 保育支援システムやホームページSNSなどを活用して、施設の情報を積極的に発信しているか。	○			各クラスの活動については、キッズノートやドキュメンテーションを活用し、子どもの育ちや保育活動の内容を見える化することで、保護者により伝わるよう工夫している。さらに、保健センターなどの地域機関と連携し、子育て支援に関する情報を共有し、子育て世帯への情報提供にも努めている。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○		
外	(1) 第三者評価を導入し施設運営に反映しているか。	○				年度末には保護者アンケートを実施し、施設運営に反映させた。また、令和6年度には第三者評価を受審し、当園が目指す保育のあり方について職員一人ひとりが

部 評 価	(2)	地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○			<p>保育の質の向上に向け、職員への研修が 見直す機会となった。これにより、改善 すべき点や強化すべき取り組みを再確認 し、保育の質の向上に繋げている。</p>
-------------	-----	-------------------------	---	--	--	--